

有富美子理事長 経歴

(現在の主な公職)

- ・山口県音楽協会 常任理事 (昭和60年～)
- ・萩第九を歌う会 会長 (平成2年～)
- ・萩音楽協会 理事 (平成14年～) ※平成3年設立 初代会長
- ・山口県文化芸術審議会 委員 (平成26年～)
- ・萩市文化協会 会長 (平成27年～)
- ・山口県合唱連盟 理事長 (平成30年～)
- ・山口県芸術文化振興奨励賞選考委員会 委員長 (平成31年～) ※平成28年～ 委員
- ・山口県文化連盟 副会長 (令和2年～) ※平成28年～ 理事
- ・萩市部活動改革推進会議 委員 (令和4年～)
- ・萩市教育文化奨励賞選考委員会 会長 (令和6年～)

昭和47年	山口県立萩高等学校卒業
昭和51年	武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業
昭和51年	山口県立萩高等学校教諭
昭和60年～現在	山口県音楽協会常任理事
平成2年～現在	萩第九を歌う会設立。会長となる。(至 現在)
平成3年～13年	萩音楽協会設立。会長となる。
平成3年	萩市教育文化奨励賞表彰 (部門：音楽)
平成13年～29年	山口県合唱連盟副理事長
平成14年～現在	萩音楽協会理事
平成16年	山口県芸術文化振興奨励賞表彰 (部門：音楽)
平成18年	山口県高等学校文化連盟芸術文化功績賞表彰
平成19年	山口県教育功績賞表彰 (学校教育)
平成25年	文部科学大臣優秀教員表彰 (部活動指導)
平成26年3月	教職を定年退職 (山口県立萩高等学校)
平成26年～現在	山口県文化芸術審議会委員
平成26年	山口県文化功労賞表彰 (部門：声楽・音楽指導)
平成27年～現在	萩市文化協会会長
平成28年～現在	山口県文化連盟理事
平成28年～現在	山口県芸術文化振興奨励賞選考委員会委員
平成30年～現在	山口県合唱連盟理事長
平成31年～現在	山口県芸術文化振興奨励賞選考委員会委員長
令和2年～現在	山口県文化連盟副会長
令和4年～現在	萩市部活動改革推進会議委員
令和5年11月	山口県選奨表彰 (芸術・文化・スポーツ功労)
令和5年12月	文化庁長官表彰 (我が国の芸術教育の振興に多大な貢献)
令和6年～現在	萩市教育文化奨励賞選考委員会 会長

有富美子理事長 功績

昭和28年7月1日生（満年齢71歳） 音楽指導歴 48年

声楽家としての活躍はもとより、指導者としても重要な役割を担い、県内外の合唱指導やコンクールの指導者としても欠かせない人材である。

特に高校合唱部の指導者として中国大会で多数の受賞歴を誇り、度々全国大会へ導くなど、萩市のみならず山口県を代表する合唱指導者として活躍しており、山口県の音楽文化の発展に貢献する功績は多大である。

また、平成27年から萩市文化協会会長、令和2年から山口県文化連盟副会長として、その活動は、音楽の分野に留まらず、山口県の文化振興発展のため、精力的に取り組んでいる。

指導力に長け、積極的な行動力の持ち主である。

快活で人望があり、周囲を牽引する指導力がある。

【演奏歴】

武蔵野音楽大学声楽科卒業、同大学卒業演奏会出演、同大学新人演奏会（イイノホール）に出演。昭和57年、萩市民館大ホールにてリサイタルを開催。山口県芸術演奏会に幾度か出演。ベートーベン「第九」演奏会のアルトソロやモーツァルト「レクイエム」演奏会のアルトソロとして県内各地で出演。ルーマニア国立放送室内管弦楽団や九州交響楽団、山口県交響楽団、ドイツ・マンハイム青少年交響楽団等と数多く共演している。また、オペラ「フランシスコ・サビエル」や、室内オペラ「KWA I DAN」などに出演。山口県立萩美術館・浦上記念館でジョイントリサイタル日本歌曲の夕べを開催。故立松フサ、故埴松子、故篠原節子各氏に師事。

【音楽教育】

（社会教育関係）

一般の女声合唱団「F i o r e H a g i」を指導して山口県合唱コンクール「金賞」受賞約15回を超える。最も優れた女声合唱団に送られる福島賞を6回受賞。県代表として中国大会に19回出場。銀賞、金賞等受賞。平成9年「国連」のコーラス団とジョイント演奏会。またその際結成された150名の市民合唱団の指導、指揮を務めた。平成10年、おかあさんコーラス大会中国支部大会で、ひまわり賞受賞。中国支部代表として、全国大会に出場。第4回やまぐち県民文化祭「第九」演奏会においても市民合唱団350名の全体指導をした。第6回やまぐち県民文化祭「きらら浜第九」の巡回指導や地区指導者も務めた。その他の地域活動にも積極的に参加し、萩第九演奏会（平成2年、平成7年、平成12年、平成14年）において、地域の市民合唱団約400名を全体指導した。

平成23年、山口国体において式典音楽の合唱隊の指導及び責任者を務めた。第5回山口県総合芸術文化祭メインフェスティバルでは音楽監督を務めた。平成

24年に山口県で開催された全国植樹祭においても式典音楽の合唱隊の指導及び責任者を務めた。

平成25年、全日本合唱連盟主催の第26回おかあさんカンタートを萩に誘致し開催するなど、山口県の女声コーラスの発展と向上に寄与。

平成27年、NHK交響楽団萩特別公演において「花燃ゆ」の合唱指導を担当した。

平成30年11月には、萩・明治維新150年を記念し、創設63年の歴史を誇る山口県交響楽団をはじめ、著名な指揮者や山口県出身の音楽家等を招聘して、ドイツ語による萩・第九演奏会を主宰。

永年に渡って、県内外の合唱指導や各種コンクールの審査員を多数務めるなど、地域を越えて山口県の音楽文化の普及啓発に、日々精力的に取り組んでいる。

(学校教育関係)

萩高校合唱部及び奈古高校合唱部の指揮者として38年間指導を続け、やまぐち県民文化祭・山口県合唱コンクール「金賞」受賞は30回を超え、特別賞の「山口県教育長賞」「理事長賞」や大賞の「山口県知事賞」を数多く受賞。

県代表として中国大会出場約30回。銀賞、金賞等を受賞。NHK全国音楽コンクール山口県大会「金賞」受賞約25回、山口県代表として中国大会出場約25回、銀賞、金賞等を受賞。

平成18年(山口県勢30年ぶり)、平成23年とNHK全国学校音楽コンクール全国コンクールに出場。全日本合唱コンクール全国大会には平成22年に出場し、24年と25年は連続出場。全国高等学校総合文化祭に山口県代表として4回出場。第21回国民文化祭・やまぐち2006「子ども夢プロジェクト」採択事業により会津高校と萩高校合唱部合同演奏会を開催。その後も交流を続け平成23年、全国高等学校総合文化祭・ふくしま大会で会津高校と再び合同演奏をした。

教員を退職後も講師として萩高校合唱部をNHK全国学校音楽コンクールと全日本合唱コンクール全国大会のダブル出場や、声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場に導き、全国クラスで優秀な成績を修めるなど、山口県の高校合唱部を全国レベルに引き上げ、県勢発展に果たした功績は極めて顕著である。

永年にわたり、高等学校の合唱文化の発展のために尽力し、また、役員として文化芸術団体の育成にも努め、我が国の芸術教育の振興に多大な貢献をしていることから、令和5年12月に、令和5年度文化庁長官表彰に選ばれました。